A-4) なぜボランティアをするのか?

社会システム科学(11/01)

公共財に関する問題

- ・公共財:誰もが利用できる財
- ・個人が出資(金銭・労力)→公共に還元(=公共財に投資)
 - ・例)ボランティア、環境問題
- ・フリーライダー
 - ・出資せずに還元を受ける人

[問い]

・出資しなくても得をするのにボランティアをするのはなぜか?

ゲーム理論

ゲーム理論

- ・戦略的状況における合理的な意思決定手段を探求
- 戦略的状況
 - ・自分の利得が自分の行動や他者の行動に依存する状況

囚人のジレンマ

- ・以下のような状況にある2人の囚人について考える
 - ・ 自白+黙秘 → 自白した囚人は無罪/黙秘した囚人は懲役10年
 - ・ 双方が自白 → 双方に懲役7年
 - ・ 双方が黙秘 → 双方に懲役2年
- ・ 自分が囚人の1人だとすると黙秘を続けるかそれとも自白するか?

非協力ゲーム

- ・複数のプレイヤーが存在
- ・各プレイヤーには選択可能な行動の集合が与えられる
- ・各プレイヤーは他のプレイヤーの選択を考慮した上で、自分の利得を最大 化することだけを目的にして戦略を選択

非協力ゲームによる囚人のジレンマのモデル化

- ・ プレイヤーは2人 (AとB)
- ・ 各プレイヤーは「自白」か「黙秘」のどちらかの行動を選択可能 \rightarrow 各プレイヤーの行動集合 = {自白, 黙秘}
- ・各プレイヤーの利得は下表のとおり

		В	
		黙秘	自白
A	黙秘	(-2, -2)	(-10, 0)
	自白	(0, -10)	(-7, -7)

非協力ゲームにおける2つの解

- ・ナッシュ均衡
- ・パレート効率性(パレート効率的,パレート最適)

ナッシュ均衡

- ・全てのプレイヤーが,他のプレイヤーの選択が変わらないという仮定の下で,自己の利益を最大化するような行動を選択している状態
- ・全てのプレイヤーが、自分だけが行動を変えても自分の利得が増えないか、 逆に減少してしまう状態
- ・ 誰も自らの行動を変えようとしない → 安定した状態

パレート効率性

- ・誰かの利得を減らすことなしには、誰の利得も増やすことは出来ない状態
- ・ パレート改善:
 - ・誰の利得も減らさずに、少なくとも1人の利得を増やすことが出来ること
- ・パレート効率的 = パレート改善できない状態

囚人のジレンマゲームにおける解

・ナッシュ均衡

	プレイ	ヤーA	プレイ	ヤーB	相手が同じ行動で
	行動	利得	行動	利得	もっと利得が良い状態
状態1	自白	-7	自白	-7	なし ← ナッシュ均衡
状態2	黙秘	-10	自白	0	状態1 (Aが自白に変更)
状態3	自白	0	黙秘	-10	状態1 (Bが自白に変更)
状態4	黙秘	-2	黙秘	-2	状態2か3

・パレート効率的:双方とも黙秘

繰り返しゲーム

- ゲームが繰り返し行われると想定
- ・トータルの利得を最大化するように行動選択の戦略を決定
- ・ 囚人のジレンマゲームを10回繰り返した場合の利得表
 - ・裏切り戦略:常に自白(ナッシュ均衡)
 - しっぺ返し戦略:基本黙秘/相手が自白→次に自白

		В	
		しっぺ返し戦略	裏切り戦略
A	しっぺ返し戦略	(-20, -20)	(-73, -63)
	裏切り戦略	(-63, -73)	(-70, -70)

※平均的にはしっぺ返し戦略のほうが合理的

ボランティアのモデル化 (1/2)

- 花を植えるボランティア
 - ・花を植えるには費用が掛かるが景観を保持することができる
 - ・ 2人が花を植えようとすると負担は軽い
 - ・ 1人だけが花を植えようとすると負担が重い
 - ・ 2人ともが花を植えないと負担はないが景観も維持できない

		В	
		花を植える	花を植えない
A	花を植える	(1, 1)	(-1, 2)
	花を植えない	(2, -1)	(0, 0)

ボランティアのモデル化 (2/2)

- ・NHKの視聴料金
 - ・ 2人が支払う → 双方ともNHKの番組を観られる
 - ・ 1人が支払い他方が支払わない → 支払いは2倍で双方とも番組は観られる
 - ・ 2人とも支払わない \rightarrow NHKの番組が観られない or 番組の質が下がる

		В	
		支払う	支払わない
A	支払う	(1, 1)	(-1, 2)
	支払わない	(2, -1)	(0, 0)

Jupyterによるシミュレーション

繰り返し囚人のジレンマゲーム

- ・BEEF+からプログラムにアクセスします。
- ・プログラムの説明は授業中に行います。